

陳 情 文 書 表

| | |
|--|---------------------------|
| 令 6 陳 情 第 5 号 | 令 和 6 年 5 月 2 2 日 受 理 |
| 件 名 | 秦野市議会議員選挙における投票日の変更を求める陳情 |
| 陳 情 者 | 秦野市南矢名 2 0 4 4 落合 篤子 |
| 陳 情 の 要 旨 | |
| <p>環境省は本年4月24日、災害級の熱波に備えるため「熱中症特別警戒アラート」の運用を全国で開始しました。広域的に過去に例のない危険な暑さが想定される場合、健康に重大な被害が生じる恐れがあるとして最大限の予防行動を促しております。</p> <p>さて昨夏、8月27日に秦野市議会議員選挙が行われました。</p> <p>市の選挙管理委員会としては、「秦野の未来を託す市議会議員24名を選ぶ大切な選挙であり、投票で秦野の未来への意思表示を示すこと」を広報紙等と呼び掛けられ、より多くの市民が投票に参加できるように、これまでも期日前投票所の設置場所の拡充や新成人へのハガキによる呼び掛けなど、様々な取組で投票率の向上に向けて努力されてきたことは承知しております。</p> <p>昨夏の秦野市議会議員選挙では、議員定数24名のところ、現職19名、新人17名の計36名が立候補されました。全国の地方議会では候補者のなり手不足が問題となる中、本市としては画期的な選挙戦であったと思いますが、期待された投票率の向上はなく、結果として過去最低の38.0%を記録し、投票率は上がるどころか、むしろ前回より3.3ポイントの減少となったことは誠に残念でありました。要因として、高齢化による身体的理由や若年世代の政治への無関心など様々なことが考えられますが、その要因の一つとして、選挙が行われる時期の問題も考えられます。</p> <p>昨年の記録的猛暑について、気象庁によると、昨夏の平均気温は1898年の統計開始以来最高を更新したとの発表がありました。最高気温35度以上、7月から8月にかけて連日「熱中症警戒アラート」が発令され、不要不急の外出を控えるような呼び掛けの中を、市議会議員立候補者らは選挙期間に過酷な運動をされておりました。このことは、候補者だけの問題ではなく投票権をもつ</p> | |

市民に取っても投票環境として最悪であり、今後ますます地球温暖化の影響を考えると、次期の市議会議員選挙の期日は春の統一選挙の投票日に合わせるべきと考えます。そのためには、市議会で議員総辞職する方法以外考えられません。

次期の市議会議員選挙の投票期日改正について、秦野市議会において早期に検討していただきたく陳情いたします。

陳情事項

次期秦野市議会議員選挙の投票期日を適正な時期に改めるよう検討すること。